

タウン情報 Vol.157

世帯数	3,225
人口	7,992
男	3,847
女	4,145

(8月末菊川の人口)



イベント	日時	場所
四熊地区運動会	10月2日(日)	四熊小学校
下上地区運動会	10月16日(日)	菊川小学校
加見地区運動会	10月16日(日)	菊川中学校
小畑秋祭り	11月6日(日)	小畑小学校
菊川まつり	11月20日(日)	菊川小学校

8月13日(土)・14日(日)に下上・加見・四熊・小畑の各地で毎年恒例の夏祭り(盆踊り)が開催されました。この会場もたくさんの方で賑わっていました。

今年の夏祭り(盆踊り)では特に下上・加見地区の太鼓の叩き手に注目しました。両地区とも将来の太鼓の叩き手を育てるために、小学校と中学校に募集をかけ、集まったおおよそ40人で6月から合同の練習をしていました。(写真左:太鼓の合同練習の風景)

限られた時間の中で練習を重ねた太鼓の担い手たちは、ベテランと比べるとまだまだ不安定ながらも、気持ちのこもった太鼓を見事に披露していました。



下上地区の夏祭りの様子

夏祭りの太鼓の担い手育成中!

菊川のひと 中学生インタビュー
公民館文庫新刊情報!!
菊川探訪
笑顔リレー ほか



『鋼のメンタル』



『海に見える理髪店』



『コンビニ人間』



『陸王』

公民館文庫
新刊入荷!!

あの半沢直樹や、花咲舞が黙ってないの作者(池井戸潤)の最新作を入荷!!
逆境からの逆転劇
池井戸ワールド全開



『仮面山荘殺人事件』



『危険なビーナス』



『KRY 山本昇治の 天気のみカタ』



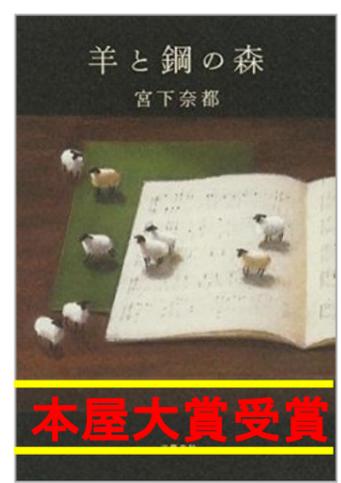
『おぼけだじょ』



『わにわにとあかわに』



『あしたの君へ』



『羊と鋼の森』

2016年本屋大賞を受賞した作品。
内容は主人公がピアノの調律師として、人として成長する姿を綴った、祝福に満ちた長編小説。
文章そのものが音楽的で、読むことの心地良さに浸れる作品です。



【菊川公民館前の現在の史跡案内板】



2017年4月 新案内板
お披露目予定
お楽しみに！

最後に中学生のみなさんから、菊川地区の住民の方へひと言をお願いします。

（青木玲那）史跡案内板を見て菊川の歴史について考えてほしいです。（兼石美陽）史跡案内板を是非見に来てほしいです。そして実際に足を運んで少しでも多くの菊川の史跡を訪れてほしいです。（高橋蒼平）僕たちが描いた看板をぜひ地域の人の為に活用してほしいです。ただ飾つてあるだけの看板にしてほしくないです。（玉野詩妃）史跡案内板を見に来て、菊川地区に色々な史跡があることを知ってほしいです。（長藤沙保）地域のみなさんに利用していただけたら嬉しいです。（中山颯心）看板のみなさんに見てもらって、菊川の色々な史跡を知ってほしいです。（西門柚葉）看板を見てもらって、面白そうとか興味があつたら、是非巡ってほしいです。（野村美優）一生懸命頑張りました。役に立てたら嬉しいです。（山田純旭）地域の方に役立つよう頑張りました。



参加した生徒の紹介

- 3年1組 高橋 蒼平 くん
- 3年1組 玉野 詩妃 さん
- 3年1組 長藤 沙保 さん
- 3年2組 青木 玲那 さん
- 3年2組 兼石 美陽 さん
- 3年2組 中山 颯心 くん
- 3年2組 西門 柚葉 さん
- 3年2組 野村 美優 さん
- 3年2組 山田 純旭 さん

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました！

（中）棚田の立体感を出すのが難しかったです。なせ今回のプロジェクトに参加しようと思いましたが、また参加してみて、どうでしたか？

（中）参加理由は子ども会のジュニアリーダーとか、そういうボランティア活動が好きだったからです。

（中）地域活動に興味があったので参加しました。

（中）近くに古墳や城跡などがあることを知ってビックリしました。

みなさんが描いた絵がこれから長い間、菊川地区の史跡案内板として残ります。

（中）ずっと大切に使い続けて欲しいです。

（中）最後まで頑張つて描いたので、地域のいろんな人に見て来てほしいです。



（中）地域の人たちに、菊川地区の中には、こんなに素晴らしい史跡があるんだと知ってほしいです。それから史跡を知ってもらうためのイベントを開いて、是非この案内板を利用してほしいです。

中学生のみなさん、こんにちは。まずは史跡案内板の原画を描き終え、お疲れさまでした。さっそくですが、実際に描いてみての感想を聞かせてください。

（中）史跡を描くために、菊川地区内の史跡巡りをしたけど、たくさんある史跡の中の一部しか見ることができなかったの、行ったことも見たこともない史跡を写真だけ見て描くのは難しかったです。



【別所城跡を求めて山の中へ】

（中）史跡の中には原形をとどめていないものがあったので、描くのがさらに難しかったです。

（中）史跡は地味な色が多くて色の使い方が難しかったですですが、色に強弱をつけて工夫しました。

菊川 探訪

第26回

村の境石 (富岡村と加見村)

最近テレビで「フタモリ」と言う番組は、地域の歴史の痕跡を探し、昔の風景を想像し懐かしむ趣向である。菊川地区でもあるのはと探すと、「村の境石」があった。菊川に沿った旧道にガードレールで隠れて見えないが、川側から見ると、「明治45年1月」の文字があり、もう100年も前から存在している。以前は、道路の西側でよく見える位置にあったが、道路の拡張工事である現在の東側（川側）に移動した。川への転落防止の為、ガードレールが設置され、目隠しの様な状態になった為、残念ながら気が付く人は皆無であらう。土地の境は重要であり、約3000年前（1715年）に、徳山藩の存続を揺るがす大事

件が藩の境（久米村万役山尾崎）で起きた。それは秋本藩領と徳山藩領との境が、入り組んで複雑な為、争いが起り、幕府の知るところになり、徳山藩は一時改易（取り潰し）になった経緯がある。

この「村の境石」は、「富岡村」と「加見村」の境であり、この石は境を示すだけでなく、



ガードレールに隠れた「村境石」

道標としての役目もあり、側面には「これより、向道村境まで、1里23町（6.4キロメートル）」と記してある。

大正13年発行の「都農郡誌」で調べると、富岡村は、「明治21年 四熊、小畑、下部落と、福川村の一部花河原を合併して、富岡村と称す」、旧藩時代は四熊、下部落は徳山藩領で、小畑は秋藩領であった、「村名は、富岡町の岡（上方の意）の方なる意を以て命名したるなり」、「戸数：681戸、人口：3,524人（大正10年）」とある。

「加見村」は、「明治22年 4ヶ村（上村、川曲村、中野村、川上村）が合併して、加見村と称す」、旧藩時代は、上村及び川曲村が徳山藩領で、中野村及び川上村が秋藩領であった、「戸数：502戸、人口：2,381人（大正10年）」とある。

この道を往来する人々や車を見守り続けている石碑の頭に触れて、歴史を感じて欲しい。

かわいい笑顔を集めてみました。掲載可能な写真がありましたら、一言コメントを添えて広報部（菊川公民館内）までご連絡ください。

笑顔リレー



はるゆき くん (2歳)
目指せ！
スーパーバスケットマン！



なおき くん (2歳)
おしゃべりが上手になったよ。



ゆうせい くん (2歳)
たくさん笑おうね！